

図書館からのお知らせ

4月からの図書館イベント

*おはなしの会とぐま・とぐまサロン

1才～3才を対象にしたおはなしの会です。絵本の読み聞かせやわらべうた・手あそびを楽しみます。

おはなしの会のあとは、図書館をサロン代わりに、親御さん同士でおしゃべりしていただきますね。

第1・3木曜日

10:30～11:00おはなしの会
～12:00サロン

*ぶつく・かふえ

お茶とケーキをおともに、本の話を楽しみます。

第4木曜日 14:00～15:30

持ち物：ケーキ代300円と
飲み物代と本1冊

~~~~~  
\*本であそぼ企画のおしらせ

からすのパンやさんのパンづくり

絵本『からすのパンやさん』(かこさとし)に出てくるような楽しいパンを作しましょう。

期日：4月26日(日)

9:00～12:00

場所：いちいの里

定員：20人(幼児は大人と参加してね)

持ち物：エプロン、三角巾

申し込み 山形村図書館

☎98-3155

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

# BOOK No.46

編集＝山形村図書館

## ちくちくクラブワークショップ 「フェルトのモビール作り」

2月22日(日)、トレーニングセンター「めばえの部屋」で子どもと大人18人が手芸を楽しみました。昨年からはじめた「ちくちくクラブ」は、寒い時期にお家で楽しめるものへと企画しました。



今年の講師は、朝日村で羊を飼って、羊毛の作品作りをしている横尾あずささんです。色とりどりに染められた羊毛を針でちくちくと刺して、ボール状にします。どんな色を選ぶかで、それぞれの個性が出ます。5分ぐらい一生懸命刺していると丸い形になってきます。うっかりすると針で手を指し、あちこちで「いたつ」「痛つ」と大合唱。それにもめげず黙々とボール状のフェルトをいくつも作りま

す。クッキーの型などに羊毛を詰めて刺していくと、かわいいハート型や花形のフェルトも作れます。これらと、森で拾ったクルミや松ぼっくりをアレンジして、小枝につるせば、ゆらゆらモビールのでき上がり。  
お部屋につるして、コーヒータムを楽しみましょうか？



## 私のこの一冊

図書館利用者 小林かつ代

『老い、どん!』

樋口 恵子(婦人之友社)



紹介したい本はたくさんあつてどれにしようか迷います。好きな作家は、田辺聖子さんです。平易な文章なのに深い意味が込められていて、あとからじわーと心に響きます。  
最近読んで面白かったのは『すぐ死ぬんだから』と『終わつた人』という、いずれも内館牧子さんの作品です。身につまされたり、最近の様子があつたり、思わぬでんでん返しがあつたり、どんだん先を読みたくなる本です。中高年にお勧めです。  
また、つい最近の本では樋口恵子さんの『老い、どん!』というエッセイです。自身の経験から老いに向かう心構えが書かれていて、私のこれからの指針として大変参考になりました。

## おすすめ新着本紹介

『ぼうさんちゅう』

松岡 篤/監修  
(アリス館)

5億年も前に誕生した放散虫の、いろいろな



形の骨を電子顕微鏡で見えます。その姿はまるで雪の結晶のよう?

『貸出禁止の本をすくえ!』

アラン・グラッツ(ほるぷ出版)



9歳の内気なエイミー・アンが落ち着くのは図書館にいたときだけ。でもある日、お気に入りの本が貸出禁止になってしまった! エイミー・アンは愛する本を救おうと立ち上がり…。

『おカネの教室』

高井 浩章(インプレス)



中学2年生になった僕と、大富豪の美少女、謎の大男の3人で始まった奇妙なクラブ。世の中の仕事について考えながら、お金や経済の仕組みをひも解いていきます。

『写真アルバム 松本・塩尻・東筑・木曾の昭和』

小松芳郎・監修(いき出版)



写真をとおして、松本平の昭和時代を振り返ります。思い出の風景を懐かしみ、これからの時代に語り継いでいきたい1冊です。